平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ５１ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題　直売所で販売されている米の消費者ニーズについて

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

管内各地の直売所では、玄米の販売が好評で、玄米が売上の重要な位置を占めるようになってきた。ただし、現在販売されている玄米は他産地に比べ比較的安価であることから、販売が好調な理由が価格であるのか、地元のものであるのか、あるいは食味なのかなど、消費者のニーズがどこにあって売れているのかが明確ではない。

また、今後、地産地消の取り組みの中で直売所での米販売が増えてくると予想されるほか、減農薬減化学肥料栽培の米の販売など、付加価値化も進むと考えられる。

そこで、直売所で販売されている米について、消費者ニーズの重要度について解析するとともに、今後のマーケティングの方向について検討していただきたい。

解決希望年限	①１年以内　[②]２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	[①]研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	[①]農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：経営情報部

対応区分	①実施 (②実施中) ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

県内農産物の県内消費を前提とした高付加価値販売方法の検討

対応の内容等

平成 16 年度の新規研究課題として、上記の課題を立ち上げ、１６年度は実態調査を普及センターをはじめ、関係機関等に行っております。１７年度は地域ブランドの効果把握として、消費者ニーズ等の把握を行っていきたいと考えております。米は直売所の目玉品目となっておりますので、研究を行っていきたいと考えております。つきましては、調査に当たってのご協力をお願いします。

解決予定年限	①１年以内 (②２～３年以内) ③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	